

小谷小だより

E-mail:kodani-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

第 7 号

令和7年

10月17日

後期がスタートしました！

10月16日水曜日、今年度の後期がスタートしました。後期は、学習発表会や親子マラソン大会等、日ごろの学びを発表する機会の多い学期となります。また、次の学年への準備の期間でもあります。一日一日を大切に、自分の成長を実感してもらいたいと思います。

前期終業式で、校長先生からこれからも続けて欲しいこととして、「目標をもって一生懸命頑張る」「人の話をしっかり聞く」ことが伝えられました。それと合わせて、決まりを守り、物の整理をすることで心を整理して落ち着いた生活をつくってほしいと思います。そして、全員で「笑顔あふれる小谷小学校」を目指していきたいと思います。

児童がなりたいた自分をめざして、自分づくりの学校生活を送っていけるよう、今後ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



5年生がこころの授業を行いました。

東広島市では、令和5年度より中学1年生、令和6年度より小学5年生を対象に「こころの授業」を展開しています。授業の目的は「生きる力を育む」です。

新型コロナウイルスの流行で取られた三密対策は、感染を予防することに効果がありましたが、同時に、良好な人間関係をつくったり人間関係作りのスキルを学んだりする機会を減少させました。この間の子供たちに対する影響は大きく、取組が必要な状況にあります。そこで、不安定な思春期を乗り越えられる土台作りとして、小学校5年生を対象とした「こころの授業（小学生版）」を展開していくこととなりました。

授業当日はスクールカウンセラーの新宅先生に来校いただき、次の2つをポイントとして学習を進めていただきました。

- ①自分も相手も大切にするためのコツ
- ②自分の気持ちと上手に付き合えるためのコツ

相手とコミュニケーションをとる時は「笑顔で、近づいて、相手を見て、聞こえる声で、仲間に入りたいことを伝える」ことが大切だということ、相手を傷つけない断り方の「ごりら」(☹めんね、断る) ⑨ゆう、相手にとって⑦ッキーな案を示す)、怒りの気持ちは6秒待ってから伝えるなど、ロールプレイを行いながら多くのことを教えていただきました。

この授業を通して、良好な人間関係をつくり、「わたし」も「あなた」も大切にすることを忘れず、学校生活が子供たちにとって、今まで以上に安心・安全なものになってほしいと思います。

10月31日は、朝会時に、校長が全校児童に命の授業を行います。また、11月4日の東広島教育の日から7日までの間に、道徳科で命に関する授業を行います。

※小学校ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心のサポーターなどに、親子関係を含めた子育ての相談ができます。お気軽にご相談ください。